

大阪公立大学教育後援会 保護者交流企画

「わがセンセの学(楽)問のススメ」

大阪市立大・府立大では、これまでに多くの学生が社会に巣立ち、優れた人材が社会で大きく活躍しています。授業を担当される先生方が、このような学生に対してどんな授業を行ってこられたのか、学生が学んできた内容を知っていただくとともに、担当の先生の専門的なお話を聴いて見て楽しんでいただくことをめざしたシリーズ企画です。

日時：2024年12月14日(土) 13:30～16:40 (予定)

場所：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス Uホール白鷺

12:45～受付開始

13:30～講演『火山の噴火とその災害』みうら だいすけ 三浦 大助 先生

14:40～休憩 (学生サークルのパフォーマンス)

15:30～講演『耳でとらえる平安京のサウンドスケープ』なかがわ しん 中川 眞 先生



2つの講演の間の休憩時間には、本学の学生サークルのパフォーマンスがあります。学生さんの元気な活動状況をお楽しみください。

参加申込

- ・お申込み方法：申込フォームよりお申込みください。保護者お2人まで参加できます。
- ・今後のご連絡は、教育後援会ホームページに掲載いたしますので、ご確認をお願いいたします。

次のQRコードから
WEBにアクセス



申込フォームの画面が出たら各項目を入力し、「**申込む**」をクリック
画面が変わった後、「**OK**」をクリックすると
受付番号が表示されます。これでお申込完了です。
(受付番号は、当日受付が必要です。)

申込締切：10月16日 (水)

締切前に定員 (500名) に達した場合は、受付を終了いたしますので、ご了承のほどお願いいたします。

お問合せ先

大阪公立大学教育後援会

杉本キャンパス事務所

TEL : 06-6605-3420

Mail : kouryu@omu-esa.org

Web : <https://www.omu-esa.org>

大阪公立大学教育後援会



「わがセンセの学(楽)問のススメ」

《講師紹介》

三浦 大助先生（大阪公立大学大学院理学研究科地球学専攻・教授）

私たちの日本列島は火山大国で世界の火山の約8%が分布しています。国内外の火山観測とその研究により火山に関する私たちの理解は大きく深まりました。ところが、明治以降150年を超える火山観測の歴史において大きな噴火の事例はあまりありません。大きな噴火は100年～1000年に一度ぐらいの事象でめったに起こらないためです。そこで過去の大噴火で生み出された火山噴出物を調べ、大噴火の貴重な情報を得る研究が盛んに行われています。演者は、長年にわたり国内外の火山噴出物を調べ、火山噴火と災害についての研究を行ってきました。講演では火山の多彩なふるまいを紹介し、日常から遠いようで実は身近な火山の世界を実感していただきたいと思います。



(C)ECORD/J-DESC/JAMSTEC

中川 眞先生（大阪公立大学都市科学・防災研究センター 特任教授）

『平安京は当時の宇宙論（コスモロジー）を地上に実現するための実験の場であった！』センサーショナルなフレーズですね。平安京が中国から入ってきた五行思想に基づいて設計されたことはよく知られていますが、それが音にまで及んでいることは、20世紀の終わりまで、すなわち私の調査まで明らかにはなりません。古代～中世に鑄造され、今日まで残っている京都市内の梵鐘の音響調査から、東西南北に配置された梵鐘の響きが、宇宙論と合致するものが多いことが判明。音を通して歴史的な都市にアプローチする面白さをお伝えしたいと思います。そして、いま始めている調査についても・・・



大阪公立大学中百舌鳥キャンパスUホール白鷺

南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約15分

南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南へ徒歩約20分

大阪メトロ御堂筋線「なかもず駅」下車、南へ徒歩約20分

